

平成23年度事業計画

北海道・東北未来戦略会議

I. 「第6回ほくとうトップセミナー」の開催

北海道・東北地域における官民のリーダーが一堂に会し、地域が抱える諸課題について活発な意見交換を行うことにより、お互いの共通認識を醸成するとともに、当地域における今後の発展戦略を企画立案し、それを推進する。

1. 開催場所

新潟県（北海道東北地方知事会の開催地）

2. 開催時期

開催県及び北海道東北地方知事会と調整を図る。
※平成23年11月7日（月）～8日（火）予定

3. 参加者

北海道・東北未来戦略会議の構成団体（14団体）の長とする。

4. プログラム

（1）構成

・「基調講演」「意見交換」で構成する。

（2）「基調講演」

・有識者を招聘し今後の地域戦略の参考に資する。

（3）「意見交換」

・基調講演の内容等を踏まえ、官民のトップが意見交換を行う。

（4）プログラムおよびテーマの詳細

・会長団体、開催県および事務局が総会以降に詳細を詰め、幹事会（7月頃開催）の了承を得る。

II. 地域産品の販路拡大に関する取り組み

貿易連携部会の枠組みを活用し、東北観光推進機構とも連携しながら、地域産品の販路拡大に向けて国内外における広域連携事業を展開する。

特に、本年3月11日に発生した東日本大震災に起因する風評被害を払拭するため、地域産品に対する連携方策や試験事業を検討する。

1. 海外拠点を活用した効果的なPR事業の実施

昨年度、香港に開設した「情報発信コーナー」や「アンテナショップ」の再開を目指すとともに、他の国・地域でのPR宣伝事業の可能性について検討する。

(1) 香港アンテナショップ事業の早期再開

- ・休止中の「北海道・東北情報発信コーナー」や「JAPANSUPER（北海道・東北アンテナショップ）」の再開

(2) 他の国・地域でのPR事業の検討

- ・香港以外の国・地域における旅行会社等と連携し、本地域における地域産品の販路拡大のためのPR宣伝事業の可能性を検討する。

2. 「観光・物産・文化」一体型の風評被害に対する取り組み

地域産品の販売を通じ被災地や風評被害のある地域を応援したいとする申し出が数多く寄せられていること等を受け、これまでの貿易連携部会の枠組みを活用しながら、国内外における風評被害の払拭に向けた連携方策や試験事業を検討する。

※本件は、主催者側の意向を尊重しながら、北海道・東北の全域を対象とするように働きかける

(1) 地域産品の販売支援を中心とする取り組み

- ・貿易連携部会の事業スキームを活用し、行政が有する地域産品の情報や、民間が有する商品提案力、物流・商流のノウハウ等を一体化して地域産品の販路拡大を図るとともに、観光情報発信により誘客を促進する。

【一例】

- ・地域産品のカタログ、ネット販売支援
JTBグループの「東北まるごとパック」の販売、等
- ・青空市場等、現地販売への支援
日本通運によるマルシェジャポン名古屋「東北応援キャンペーン」、等

(2) 観光事業と連携した取り組み

- ・東北観光推進機構等と連携し、国内外で開催されるイベントに合わせ、北海道東北地域産品や観光に関する風評被害対策に努める。

【一例】

- ・関西のTV局、新聞社等からの復興イベントへの協力の問合せ
- ・他地域の観光機構との連携イベントの開催、など

Ⅲ. 総会、幹事会の開催について

会議名	開催回数	開催場所	会議概要
総会	年1回程度 (6月)	仙台市等	事業報告・決算の承認、事業計画・予算の決定並びにその他必要な事項について審議。 ・事業報告及び決算の承認 ・事業計画及び予算の決定 ・その他
幹事会	年4回程度 (6月、7月、 12月、3月)	仙台市等	総会で決議した事項の執行及びその他会務の執行に関する事項について協議。 ・事業実施状況に関する協議 ・事業計画及び予算等の協議 ・その他

※事業の進捗に応じ、臨時に会議を開催する場合がある。

以上